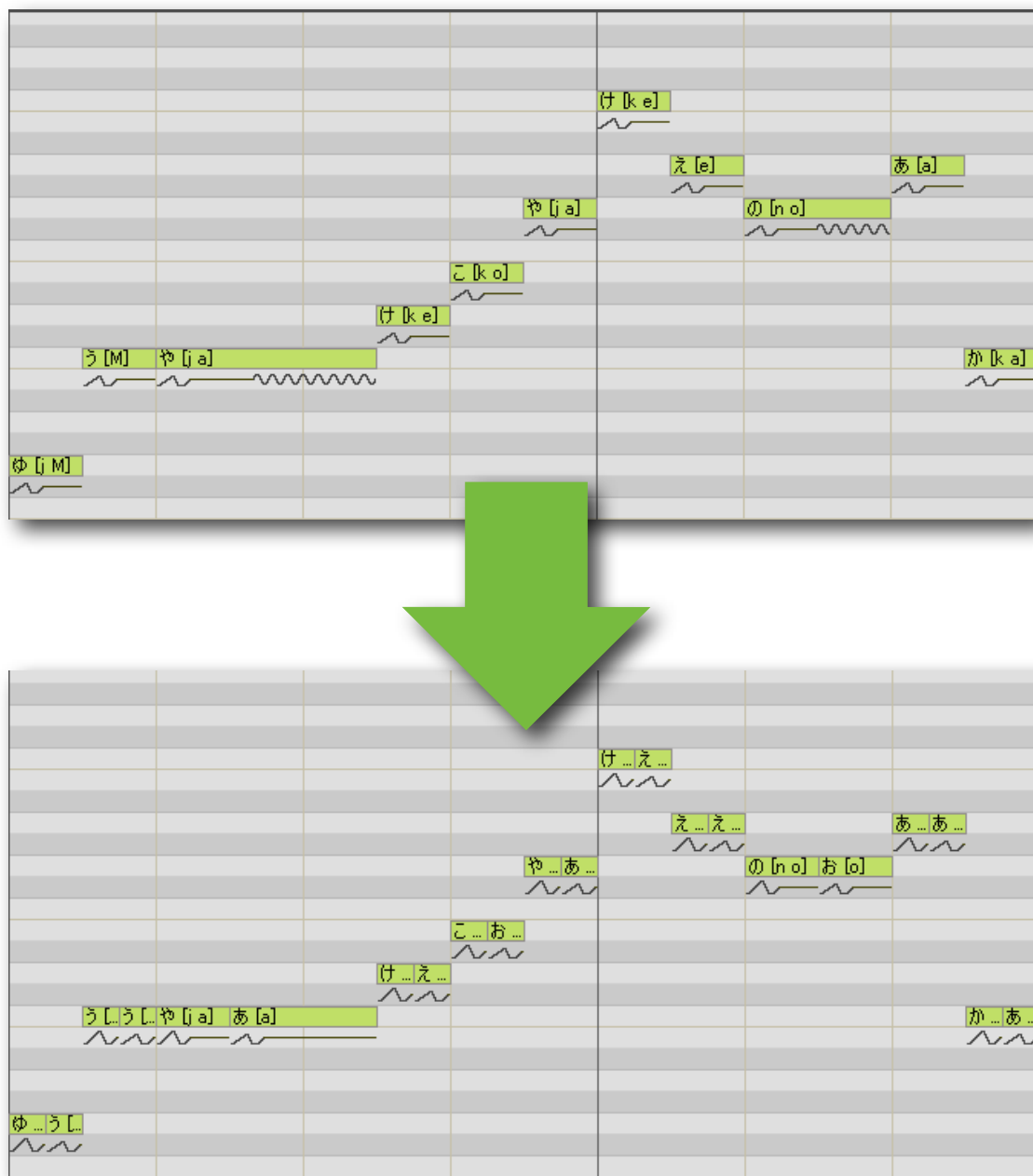


VOCALOID3 Job Plugin “SplitNotes” 操作説明書

1. はじめに

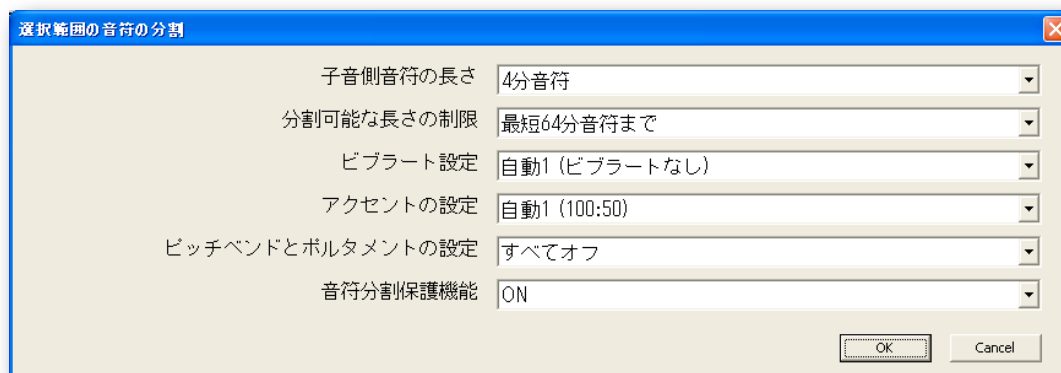
SplitNotesは、選択範囲内の音符を二分割するプラグインです。分割と同時に、ピッチラートやアクセントの設定を行う事もできます。



プラグインには音符分割済みの部分を保護する機能が搭載されていますので、部分的に音符分割を行った後、分割済みの音符を損なわずに、全体に処理をかけなおすこともできます。

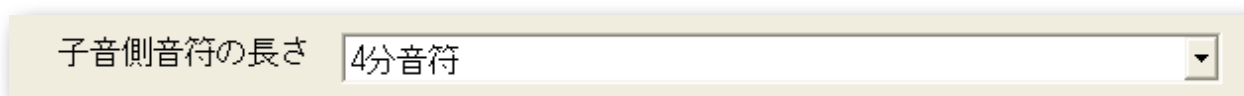
2. 機能解説

2.1 ダイアログ

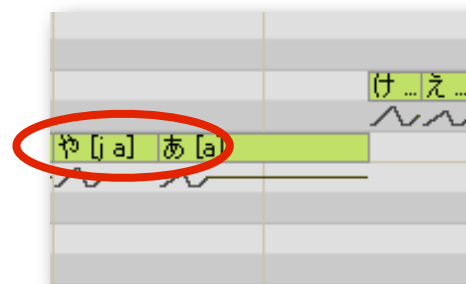


プラグインを実行すると、まず上の図のようなダイアログが表示されます。ダイアログで処理内容を選択し、「OK」ボタンを押すと、処理が実行されます。なお、選択範囲に処理出来る音符がなかった場合は、なにもしません。ダイアログ上の各設定項目についての解説は、次項からを参照して下さい。

2.2 「子音側音符の長さ」



プラグインは、音符を二分割します。その際、子音側の音符を最大でどの長さまでにするかを指定します。分割する音符の長さがここで指定した音符の長さの二倍以上ある場合は、分割後の音符の長さは次のように分割されます。



指定した長さ + (元の長さ - 指定した長さ)

分割する音符の長さがここで指定した長さの二倍に満たない場合、子音側の音符の長さは自動的に決定されます。プラグインは、64分音符～4分音符のうち、分割対象の音符の半分以下で最も近い長さを選択して、子音側音符の長さとしています。このとき、音符は以下のように分割されます。

自動選択された長さ + (元の長さ - 自動選択された長さ)

2.3 「分割可能な長さの制限」

分割可能な長さの制限 最短64分音符まで

あまりに短い音符を分割してしまうと、エディタ上での編集がしにくくなってしまいます。それでこの項目では、分割される音符の長さを、最低どのくらいまでにするかを設定します。

プラグインは、この項目で設定した長さよりも短い音符に対しては、分割処理を行いません。

2.4 「ビブラート設定」

ビブラート設定 自動1 (ビブラートなし)

分割した音符のビブラート設定をどうするかを選択します。選択肢は、次の表の通りです。お好みの動作を選択して下さい。

項目名	処理内容
自動1 (ビブラートなし)	音符のビブラートを「Non Vibrato」に設定します。もともとビブラートが設定されていた場合も、「Non Vibrato」に設定変更します。
自動2 (Normal-30:100)	音符に「Normal Type1」のビブラートを設定します。長さは、一個目の音符は30%、二個目は100%に設定します。
元の設定をコピーする	もともとの音符に設定されていたビブラート設定を、分割済みの音符にコピーします。

母音側の音符のみにあとからビブラートを設定するような場合には、「自動1」をお勧めします。また、子音側、母音側の両方にあとからビブラートを設定する場合は、「自動2」を使うと良いでしょう。

演出として過剰なビブラートを付加する場合を除けば、「Normal Type1」で程よいビブラートの加減になります。

なお、短い音符が多用されている曲の場合、ビブラートは発音の乱れや音程の不安定さの原因になる場合があります。例えば、音符のほとんどが16分音符であるような場合には、「自動1」を選択して、ビブラートを解除する事をお勧めします。

2.5 「アクセントの設定」

アクセントの設定 自動1 (100:50)

分割した音符のアクセントをどうするかを選択します。選択肢は下の表の通りです。お好みの動作を選択して下さい。

項目名	処理内容
自動1 (100:50)	子音側の音符のアクセントを100%に、母音側の音符のアクセントを50%に設定します。
自動2 (75:30)	子音側の音符のアクセントを75%に、母音側の音符のアクセントを30%に設定します。
元の設定をコピーする	もともとの音符に設定されていたアクセントを、分割済みの音符にコピーします。

初音ミクのように子音の発音がハッキリしている歌手を使用する場合は、「自動2」を選ぶか、または「元の設定をコピーする」を選ぶと良いでしょう。

ACT2でない鏡音リンのように子音の発音があやふやな場合は、「自動1」を選ぶ事をお勧めします。

2.6 「ピッチベンドとポルタメントの設定」

ピッチベンドとポルタメントの設定 すべてオフ

分割した音符の「音符のプロパティ」の中にある「表情コントロールプロパティ」の、ピッチベンドとポルタメントの設定をどうするかを選択します。選択肢は以下の表の通りです。お好みの動作を選択して下さい。

項目名	処理内容
すべてオフ	全ての項目を0にします。また、ポルタメントのチェックボックスをオフにします。
元の設定をコピーする	元の音符の設定を、分割済みの音符にコピーします。

ストレートな歌い方をさせる場合、この項目は「すべてオフ」を選択する事をお勧めします。

2.7 「音符分割保護機能」

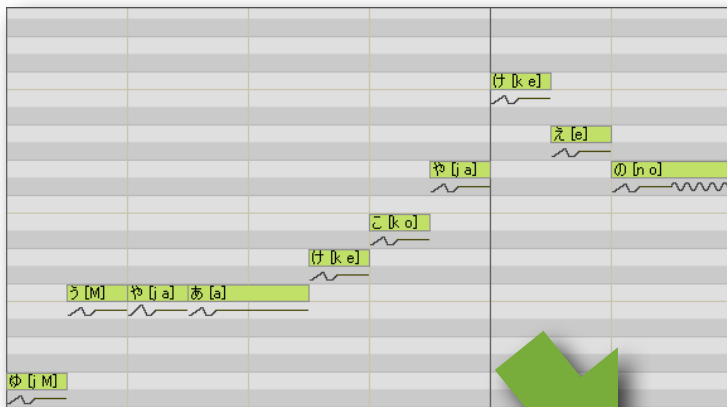
音符分割保護機能

選択範囲内にある分割済みの音符を、分割対象から除くか否かを選択します。選択肢は以下の表の通りです。お好みの動作を選択してください。

項目名	処理内容
ON	分割済みの音符を保護し、このプラグインの処理対象から除外します。
OFF	選択範囲内にある全ての音符を分割処理の対象にします。

音符分割保護機能は、レガートで繋がった同音程の音符が以下のいずれかの条件を満たしているとき、そのひと連りの音符をひとつの音符が分割されたものとみなし、プラグインの処理対象から除外します。

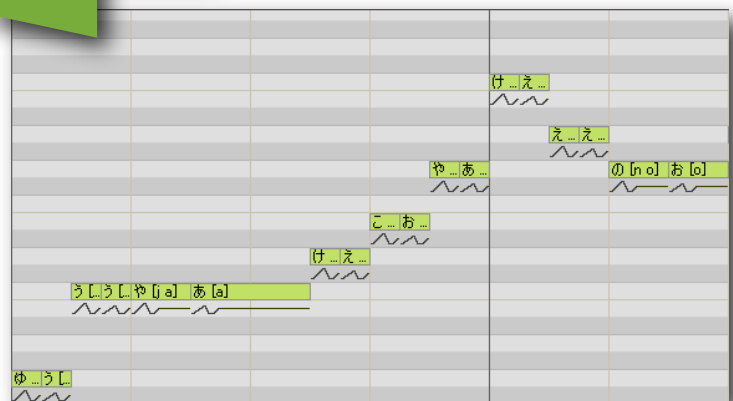
- [子音+母音]、[前と同じ母音]の順に並んでいる場合
- [子音]、[母音]の順に並んでいる場合
- [母音]、[前と同じ母音]の順に並んでいる場合



左の図では、「や」のみが「や」「あ」に分割されています。

このような状態のデータ全体を選択し、音符分割保護機能をオンにして分割処理をかけると、

右の図のように、分割済みだった「や」「あ」が再分割されず、そのまま残されます。音符分割保護機能をオフにしていると、「や」と「あ」がそれぞれ二つの音符に分割されて、「や」「あ」「あ」「あ」になってしまいます。



音符分割保護機能をオンにしている場合、以下の全ての条件を満たしている音符は分割されません。

- 全て同じ音程である
- 全て同じ発音記号である
- 音符同士がレガートで繋がっている

このような音符を分割したい場合は、音符分割保護機能をオフにしてください。それ以外の場合は、オンにしておいても問題はありません。

おわりに

本書およびジョブプラグインSplitNotesは、circularの著作物であり、これらに関わる全ての権利はcircularに帰属します。

本書の営利目的での転載は固く御断り致します。但し、非営利の場合に限り、本書の無断転載を許可します。

私ことcircularは、SNS「ボーカロイドにゃっぽん」およびCGMサイト「ピアプロ」に参加しています。プラグインについてのご意見、ご要望、または不具合報告などがありましたら、是非「ボーカロイドにゃっぽん」または「ピアプロ」にてメッセージを御願ひします。

最後に、末筆ではありますが、本プラグインのテストに参加して頂いた皆様に御礼申し上げます。有り難うございました。

変更履歴

版数	日付	変更内容
1.0.0.5	2011.12.16	初版
1.0.0.6	2012.01.14	<p>[不具合修正]</p> <ul style="list-style-type: none">・ 子音単体の音符の隣にある音符が分割対象から除外される不具合を修正しました。・ 子音側と母音側の間に1 tickの隙間ができる不具合を修正しました。 <p>[仕様変更]</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「ん」の発音に使用される”n”, ”m”, ”N¥”を母音扱いするように変更しました。・ 子音側の音符の長さを、等分ではなく自動選択するように変更しました。この変更により、母音側の音符を移動するときにクオンタイズが邪魔になる現象が回避されます。 <p>[機能追加]</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「分割可能な長さの制限」を追加しました。